

日本における西洋音楽の歴史、それを藝術歌曲の発展というテーマで見た場合、戦前の山田耕筰、戦後の中田喜直の存在は欠かせないものでしょう。二人は互いにその才能によって西洋の技法を習得し、日本語と向かい合い、今もなお色褪せぬ独自の世界を構築しました。

そして現代の作曲家、木下牧子、信長貴富両氏の歌を紐解くとき、あたかも西洋音楽における「古典からロマン、そして現代」という様式の発展、その縮図がそこにあるかのようです。それは日本の藝術歌曲のもつ歴史の厚み、奥深さと言えましょう。

今回のプログラムではそんな歴史を追いつつ、四人の作曲家による歌、美しいメロディを持つ作品を中心に構成しました。



宮本 益光

Masumitsu Miyamoto, Baritone

東京藝術大学博士課程修了。学術(音楽)博士。声楽を佐藤陽三、高橋大海の各氏に師事。2005年、テレビ愛媛賞25受賞。2009年、よんでん芸術文化奨励賞受賞。聖徳学園大学演奏学科准教授。東京藝術大学音楽学部非常勤講師。

オペラ歌手として「欲望という名の電車」スタンリー役の好演で一躍脚光を浴び、宮本垂門演出「ドン・ジョヴァンニ」で二期会デビューした。その後もびわ湖ホール「ラ・ボエーム」、新国立劇場「鹿鳴館」、日生劇場「メデア」、神奈川県民ホール「金閣寺」など話題作に次々と主演。2005年にはデビュー CD「おやすみ」、その後も「あしたのうた」「碧のイタリヤ歌曲」「信長貴富歌曲集 うたうたう」などをリリース。著書に「宮本益光とオペラへ行こう」、「もしも歌がなかったら」、作詞作品に「あしたのうた」「歌いたがりの歌の歌」「花流し」(加藤昌則作曲)、「うたうたう」「にじのソネット」(信長貴富作曲)などがある。



高田恵子

Keiko Takata, Piano

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部演奏学科を経て、同大学研究科を修了。2009年第14回日本モーツァルト音楽コンクール奨励賞。2010年第8回チェコ音楽コンクール第2位。桐朋学園大学声楽部会の嘱託演奏員を務めた後、現在は二期会オペラ研修所、日本声楽家協会ピアニスト。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

■交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分

くらしの中にクラシック

宗次ホール

Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~18:00
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)